


23 循環器・呼吸器病センター治療棟ほか 煙突アスベスト対策工事

図面番号	縮尺	図面名称
A-01	-	表紙・図面リスト
A-02	-	特記仕様書（改修その1）
A-03	-	特記仕様書（改修その2）
A-04	-	特記仕様書（改修その3）
A-05	-	特記仕様書（改修その4）
A-06	1/500	配置図・仮設計画図・案内図
A-07	1/100・1/50	治療棟 地階平面図・煙突詳細図
A-08	1/100	治療棟 1階平面図
A-09	1/100	治療棟 2階平面図
A-10	1/100	治療棟 3階平面図
A-11	1/100	治療棟 屋上平面図
A-12	1/100	治療棟 南側立面図
A-13	1/100	治療棟 東側立面図
A-14	1/100	治療棟 西側立面図
A-15	1/100	治療棟 北側立面図
A-16	-	治療棟 煙道切り回し図
A-17	1/100・1/50	機械棟 平面図・立面図・煙突詳細図

<small>地方独立行政法人 埼玉県立病院機構</small>  <small>本部</small>	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

特記		 (有) ゆう建築設計工房 <small>U PLANNING</small> 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6599号 一級建築士 国土交通大臣登録 第89149号 成田 伸一	工事名 23循環器・呼吸器病センター治療棟ほか煙突アスベスト対策工事	縮尺	日付	図面番号
			図面名 表紙・図面リスト	設計	製図	A-01

6 内装改修工事	① 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合天井・壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 図示	8 合板等	・「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・	15 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 [6.7.3、4][表6.7.1] ※表6.7.1)により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類。 図示 スタッドの高さが5mmを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による	24 量敷き	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																																															
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・																																															
	2 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも) [6.2.2] ・下地モルタルとも (・図示の範囲) 除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目付工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※2級以上・1級</td> <td>※1類・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td>※12</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する () ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		※2級以上・1級	※1類・特類	※C-D以上	※12		・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・	16 ビニル床シート [G]	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考																												
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																																													
		※2級以上・1級	※1類・特類	※C-D以上	※12		・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・																																													
	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4.3.10]によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示) 図示	・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・特類 ・1類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	間伐材等の適用					・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	17 ビニル床タイル [G]	[6.8.2] <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※KT(コバ)タイプビニル床タイル</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>※2.0 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT(単層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT(複層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・2.5 ・3.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA(置敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>				種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	※KT(コバ)タイプビニル床タイル	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0		・TT(単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・		・FT(複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0 ・		・FOA(置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0		・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・		18 特殊機能床材	・帯電防止床シート 種類 () 性能 () 厚さ(mm) () [6.8.2] ・帯電防止床タイル 種類 () 性能 () 寸法(mm) (×) 厚さ(mm) () ・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 () 形状 () ・耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ(mm) () ・防汚性床シート 種類 () 厚さ(mm) () ・防汚性床タイル 種類 () 寸法(mm) (×) 厚さ(mm) ()	25 せっこうボード ⑤ 他のボード張り	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	間伐材等の適用																																																
					・特類 ・1類	・適用する ・適用しない																																																
	種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																	
※KT(コバ)タイプビニル床タイル	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0																																																			
・TT(単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・																																																			
・FT(複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0 ・																																																			
・FOA(置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0																																																			
・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・																																																			
4 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による	・「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [G] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の厚さ(mm)</th> <th>接合の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※10%以上・1級</td> <td>※1類・特類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	化粧板に使用する単板の厚さ(mm)	接合の程度	防虫処理	間伐材等の適用		※10%以上・1級	※1類・特類	・適用する ・適用しない	・	19 ビニル幅木	材質の種類 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2] 高さ(mm) ※60・75・100 厚さ(mm) ※1.5以上		種別 ・A種 ・B種 ・C種 色柄 () 厚さ(mm) 3.0・4.5・6.0・9.0 寸法(mm) () × ()		種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																				
施工箇所	化粧板に使用する単板の厚さ(mm)	接合の程度	防虫処理	間伐材等の適用																																																		
	※10%以上・1級	※1類・特類	・適用する ・適用しない	・																																																		
5 製材 [G]	・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接合の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	20 ゴム床タイル	種類 ・単層品 ・積層品 色柄 () 厚さ(mm) 3.0・4.5・6.0・9.0 寸法(mm) () × ()		種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																				
施工箇所	厚さ(mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用																																																	
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																																																	
	・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材	・パーティクルボード [G] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table>	施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)		※13タイプ	※P又はM			※15	21 カーペット敷き [G]	・織じゅうたん [6.9.2、3][表6.9.1] 織り方 バイル形状 ・ウィルトンカーペット ・カットバイル ・ダブルフェースカーペット ・ループバイル ・アキスミンスターカーペット ・カットループバイル 色柄 ※模様のない無地 ・パイル系の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種類 (・A種 ・B種 ・C種) 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm		種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																				
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)																																																	
	※13タイプ	※P又はM			※15																																																	
	・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材	・JAS 0360 に基づく構造用パネル	9 接合具等	造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3] ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、産金、箱金物、短冊金物 ※F☆☆☆☆ ※改修標準仕様書表6.5.3-5に示す程度の市販品 表8.20.1(F種程度) 材質： (形状：)				種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																														
	・JAS 1083 (製材) 以外の製材	・MDF [G]	10 接着剤	接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3、4] ・薬剤の加圧注入による防虫、防蟻処理 [6.5.5] 適用部位 () ・K2 ・K3 ・K4 保存処理性能区分				種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																														
	6 造作用集材 [G]	・「集材の日本農林規格」による造作用集材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面積</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種名	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積	間伐材等の適用				※1等	※10%以下 ・A種・B種		・				※1等	※10%以下 ・A種・B種		・	22 合成樹脂塗床	タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 (※図示)		種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																											
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積	間伐材等の適用																																																
			※1等	※10%以下 ・A種・B種		・																																																
			※1等	※10%以下 ・A種・B種		・																																																
	7 造作用単板積層材 [G]	・「集材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>芯材の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積	間伐材等の適用						※1等 ・2等		※1等 ・2等	・	23 フローリング張り [G]	フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2~6] ※改修標準仕様書6.11.2.(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 単層フローリング (フローリングボード1等) 樹種 ※なら 間伐材等の適用 ・する ・しない 単層フローリング (フローリングブロック1等) 樹種 ． 厚さ(mm) ． 大きさ ． 間伐材等の適用 ・する ・しない 複合フローリング 工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 種類 ・A種 ・B種 ・C種 間伐材等の適用 ・する ・しない 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗 ・オイルステインの上、ワックス塗 ・生地のままワックス塗		種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																														
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積	間伐材等の適用																																														
					※1等 ・2等		※1等 ・2等	・																																														
	8 造作用単板積層材 [G]	・「集材の日本農林規格」以外の造作用集材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面積	含水率	間伐材等の適用				※15%以下	・	・				※15%以下	・	・				種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																														
施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面積	含水率	間伐材等の適用																																																	
			※15%以下	・	・																																																	
			※15%以下	・	・																																																	
	9 造作用単板積層材 [G]	・「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>芯材の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積	間伐材等の適用					※15%以下		※1等 ・2等	・			種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																	
施工箇所	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	寸法(mm)	見付け材面積	間伐材等の適用																																															
				※15%以下		※1等 ・2等	・																																															
	10 造作用単板積層材 [G]	・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用					・する ・しない	・	12 内部間仕切軸組及び床組み	間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.6] ※杉又は松 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松		種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																				
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																	
				・する ・しない	・																																																	
	11 造作用単板積層材 [G]	・JAS 0701以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用				※14%以下	・する ・しない	・				※14%以下	・する ・しない	・	13 窓、出入口その他	窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.7] 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき その他 ※松又は杉		種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																														
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																	
			※14%以下	・する ・しない	・																																																	
			※14%以下	・する ・しない	・																																																	
	12 造作用単板積層材 [G]	・JAS 3079に基づく直交集成板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用								・	14 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外 (※25形・19形) 屋内 (※19形・25形) [6.6.2~4] 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 野縁のインサート ・使用する ・使用しない 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 () 箇所 引張試験にて確認する強度 ※リボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400N程度 () ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふところ高が3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示		種別 ・A種 ・B種 ・C種 (疊床：-KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表：・C1・C2) MDF及びパーテイクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																															
							・																																															

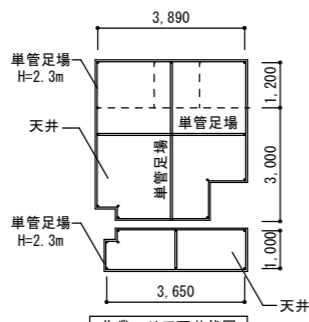
27 モルタル塗り
モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料
既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示)
・設けない
床目地 ・設ける 目地割り ※2m程度(最大地間隔3m程度)
種類 ※押し目地
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の地下処理 ※図示による

35 階段滑り止め
材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7)
・アルミニウム製押出型材
形状 ※タイヤ製 (タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等合) ・タイヤレス製
端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし
寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法

49 屋内掲示板
枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩化ビニルシート張り
50 洗面カウンター
材質 ・メラミン樹脂化粧板張り (芯材:集成材) ・人工大理石
奥行き(mm) ・約450 ・約600
51 防煙垂れ壁
・固定式
材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考
※納入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き
・線入り磨板ガラス

8 耐震改修工事
特記仕様書 (改修その7~8) による
9 ① 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]
② 石綿含有吹付け材の除去 (レベル1)
除去対象範囲 ・図示 ※[9.1.3](2) (7) による
除去工法 ※[9.1.3](2) (7) による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※密封処理 ※差遣化 ・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

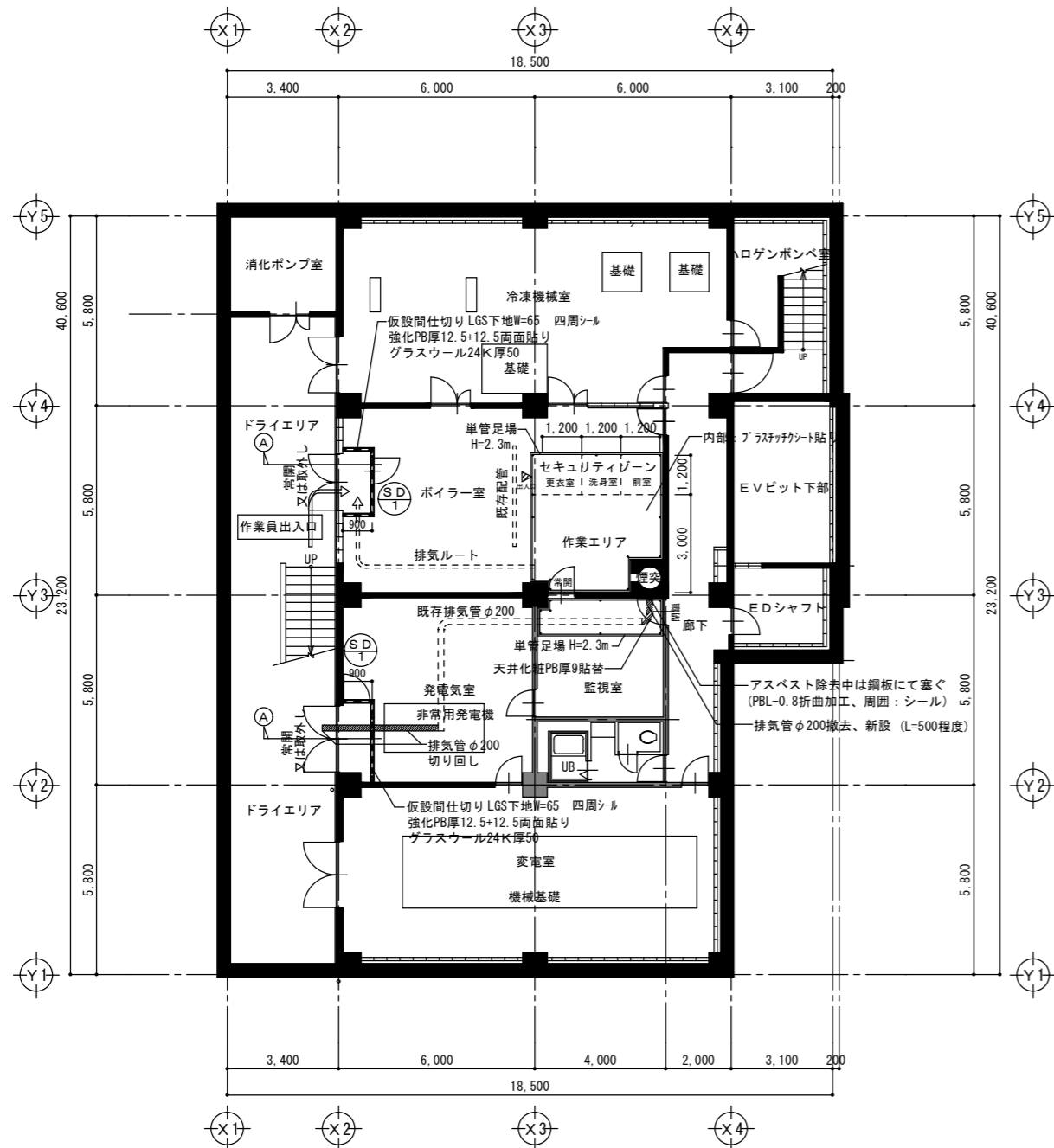
<p>8 断熱・防露改修工事</p> <p>※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4] ※F☆☆☆☆ 工法 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 A種1H 厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 図示 断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 材質 ・せっこうボード等張り付けたパネルを使用 厚さ(mm) 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法</p>	<p>9 屋上緑化改修工事</p> <p>植栽基盤及び材料 [9.4.2~4] 屋上緑化システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年</p>	<p>10 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~5.9]</p> <p>適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛土</td> <td>A種 B種 C種 D種</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td>再生クラッシャーラン G クラッシャーラン 切込み砂利</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>改修標準仕様書9.5.3(2)(9)による</td> <td>図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p> <p>路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 置き換え工法() 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号) 添加量 () kg/m³ (目標CBR ※3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻³ cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別) ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシャーラン G ・再生粒度調整砕石 G ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G</p> <p>舗装の構成 舗装の平坦性 ※著しく不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ(mm)	盛土	A種 B種 C種 D種	図示	凍上抑制層	再生クラッシャーラン G クラッシャーラン 切込み砂利	図示	フィルター層	改修標準仕様書9.5.3(2)(9)による	図示	<p>11 舗装版切断時に発生する濁水の処理(舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)</p> <p>濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却含む) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行において、産業物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。</p> <p>提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>その他 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	<p>10 鉄筋工事</p> <p>1 鉄筋 (5.2.7) 鉄筋の種類 種類の記号 呼び径(mm) 備考 ・SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上</p> <p>2 溶接金網 (5.2.2) 形状等 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子</p> <p>3 鉄筋の継手 (5.3.4) 鉄筋の継手方法等 部位 継手方法 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ・重ね継手</p> <p>継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1.6.1.7.1.7.2.8.1) ・基礎梁主筋の継手位置 図5.2 図5.3 図5.4 ・図示による() 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(9)) ・図示による() 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所へ設ける部分の位置及び施工方法等 ・図示による()</p> <p>4 鉄筋の定着 (5.3.4) 鉄筋の定着長さ ・図示による()</p> <p>機械式定着工法 運用場所 図示による() 種類 ・摩擦圧接接合 ・鋼合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定</p> <p>工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による</p> <p>鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。</p> <p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5) 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による() 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm</p> <p>6 各部配筋 (5.3.7) ※図示による</p> <p>7 ガス圧接 (5.4.10) 圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 全行(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) 引張試験 試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(b)による</p> <p>8 機械式継手 (5.5.3.5) 適用箇所 図示による() H12建第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 ・充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・鋳物ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手</p> <p>工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して()箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置</p> <p>9 溶接継手 (5.5.3.5) 適用箇所 図示による() H12建第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 図示による() 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による()</p>	<p>11 寒中コンクリート (6.11.1.2) 適用期間(月日~月日) 構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による()、S=()</p> <p>12 暑中コンクリート (6.12.2) 適用期間(月日~月日) 構造体強度補正値(S) ※N/mm² 図示による()、S=()</p> <p>13 マスコンクリート (6.3.1.2) 適用箇所 図示による() セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による 標準仕様書6.13.2(4)による)</p> <p>14 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G 設計基準強度 ※18(N/mm²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による()</p> <p>15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m³に回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画適合率の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生産製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打たずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生産製造者に改善を指示しなければならない。更には、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、T77法又は静電容量測定法による。また、試験機は該当コンクリート製造所以外の機関とする。</p> <p>11 コンクリート工事 (6.2.7) 1 コンクリートの種類等 (6.2.7) 種類 ※I類(JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度(N/mm²) 気乾単位容積質量(t/m³) スラブ 適用箇所 ・24 2.3程度 15又は18・18 構造体強度補正値(S) (6.3.2) ※標準仕様書表6.3.2による 補正値S=3(月日~月日、月日~月日) S=6(月日~月日、月日~月日)</p> <p>2 セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・普通ポルトランドセメント ・普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 G ・適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 G ・適用箇所()</p> <p>3 骨材 (6.3.1A) アルカリシリカ反応性による区分 A・B(コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m³以下)</p> <p>4 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による</p> <p>5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による()</p> <p>目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による()</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による()</p> <p>6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日</p> <p>7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種類 適用箇所 ・A種 ※図示による() ・B種 ※図示による() ・C種 ※図示による() コンクリートの仕上りの平坦さ 種類 適用箇所 ・a種 ※図示による() ・b種 ※図示による() ・c種 ※図示による()</p> <p>8 打増し厚さ(打増し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・外装タイラ後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による()</p> <p>9 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm) G コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による() ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による() 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 図示による() スリーブの材質・規格等 ・図示による()</p> <p>10 軽量コンクリート (6.10.1.2) 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による()) 適用箇所 ・図示による() 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書表6.10.1による スラブ ※21cm</p>
種別	材料	厚さ(mm)															
盛土	A種 B種 C種 D種	図示															
凍上抑制層	再生クラッシャーラン G クラッシャーラン 切込み砂利	図示															
フィルター層	改修標準仕様書9.5.3(2)(9)による	図示															
<p>地方独立行政法人 埼玉県立病院機構</p>				<p>本部長 管理幹 主幹 主査 担当</p>	<p>U PLANNING (有) ゆう建築設計工房 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6599号 一級建築士 国土交通大臣登録 第99149号 成田 伸一</p>	<p>2024.02.19 R6.1(Ver.R5-3) 23循環器・呼吸器病センター治療棟ほか煙突アスベスト対策工事 特記仕様書(改修その4) A-05</p>											



作業エリア天井伏図
床：プラスチックシート貼りt=0.15(二重)
壁・天井：プラスチックシート貼りt=0.1(一重)

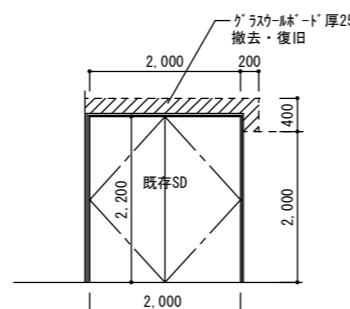
符号・数量	(SD) 1	2
型式・見込	片開きドア (防火設備)	85
材質・仕上	溶融垂鉛付鋼板	
ガラス		
金物	シリング錠 丁番 ドアローザ 三方枠	附属金物一式

※工事完了後撤去

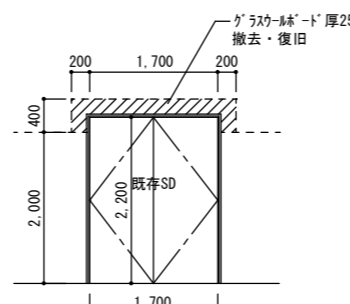


治療棟 地階平面図 S=1/100

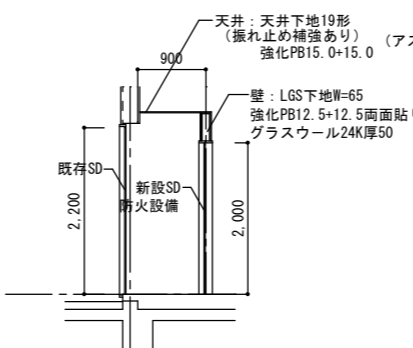
※ドライエリア、ボイラー室、発電機室、監視室：養生シート敷き



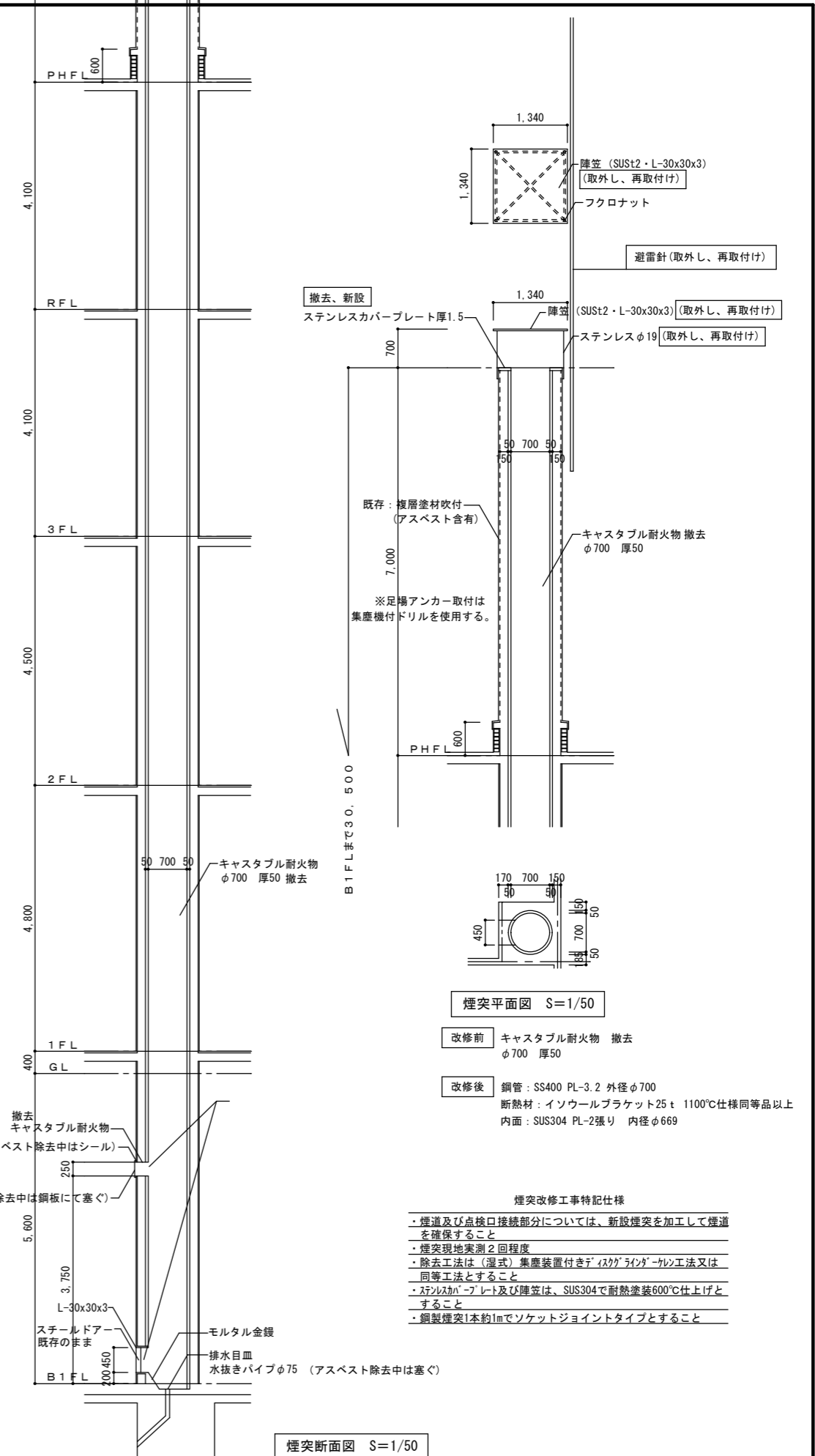
(発電機室X2通り 展開図)



(ボイラー室X2通り 展開図)



(A) 断面図 S=1/50



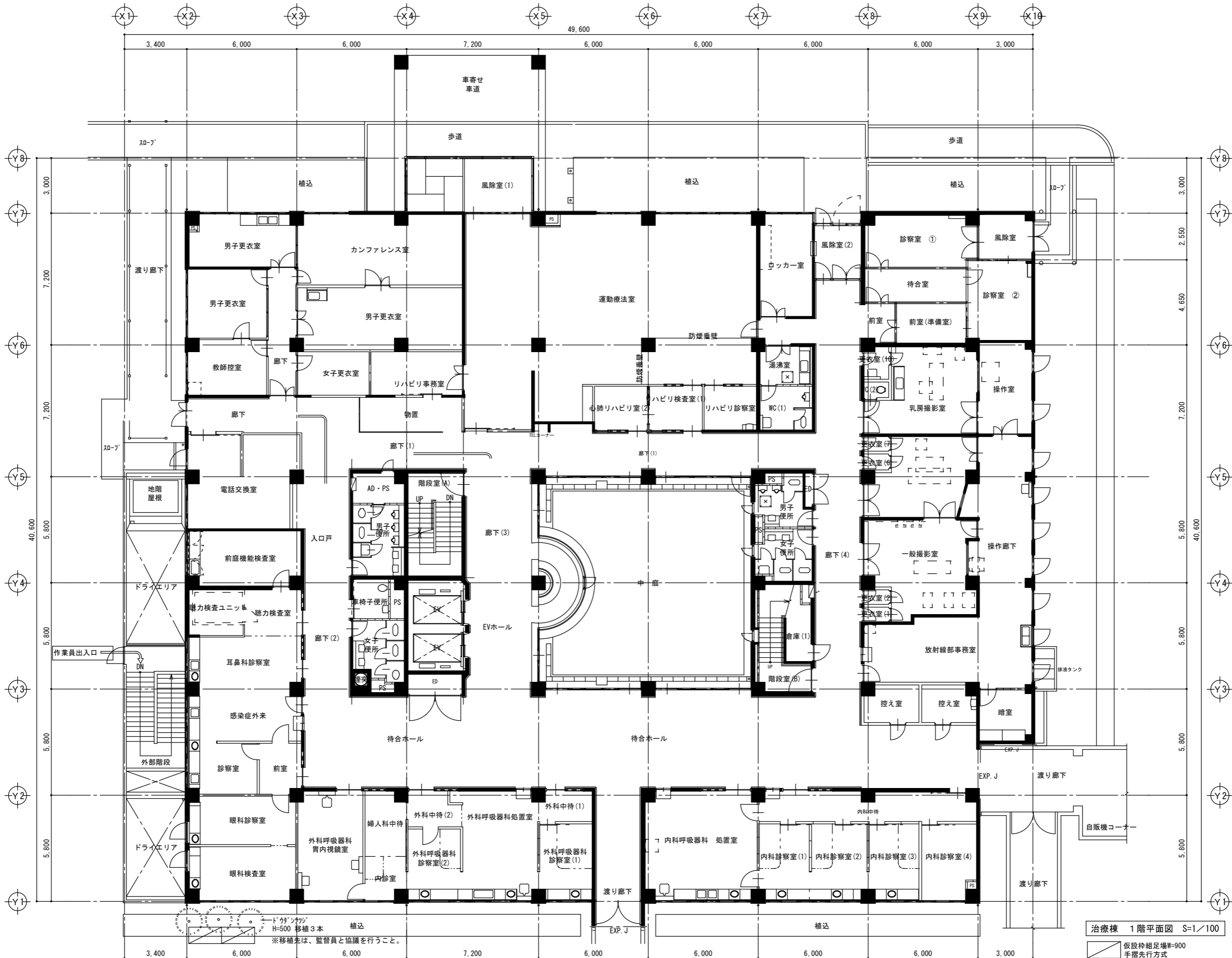
煙突平面図 S=1/50

改修前 キャスタブル耐火物 撤去
φ700 厚50
改修後 鋼管：SS400 PL-3.2 外径φ700
断熱材：イソウォールブラケット25 t 1100℃仕様同等品以上
内面：SUS304 PL-2張り 内径φ669

煙突改修工事特記仕様

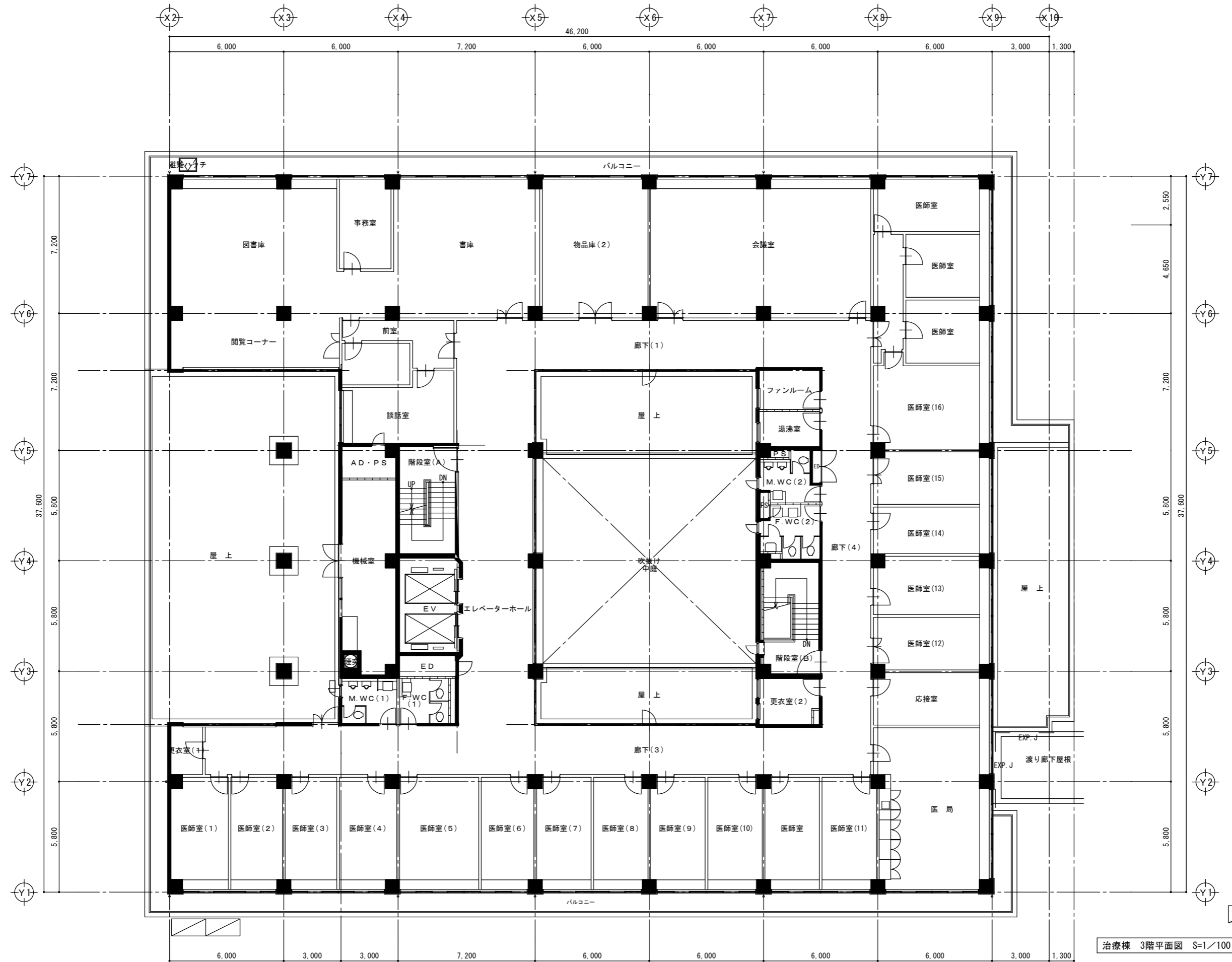
- ・煙道及び点検口接続部分については、新設煙突を加工して煙道を確保すること
- ・煙突現地実測2回程度
- ・除去工法は(湿式)集塵装置付きディスクグラインダー工法又は同等工法とすること
- ・ステンレスカバープレート及び陣笠は、SUS304で耐熱塗装600℃仕上げとすること
- ・鋼製煙突1本約1mでソケットジョイントタイプとすること

煙突断面図 S=1/50



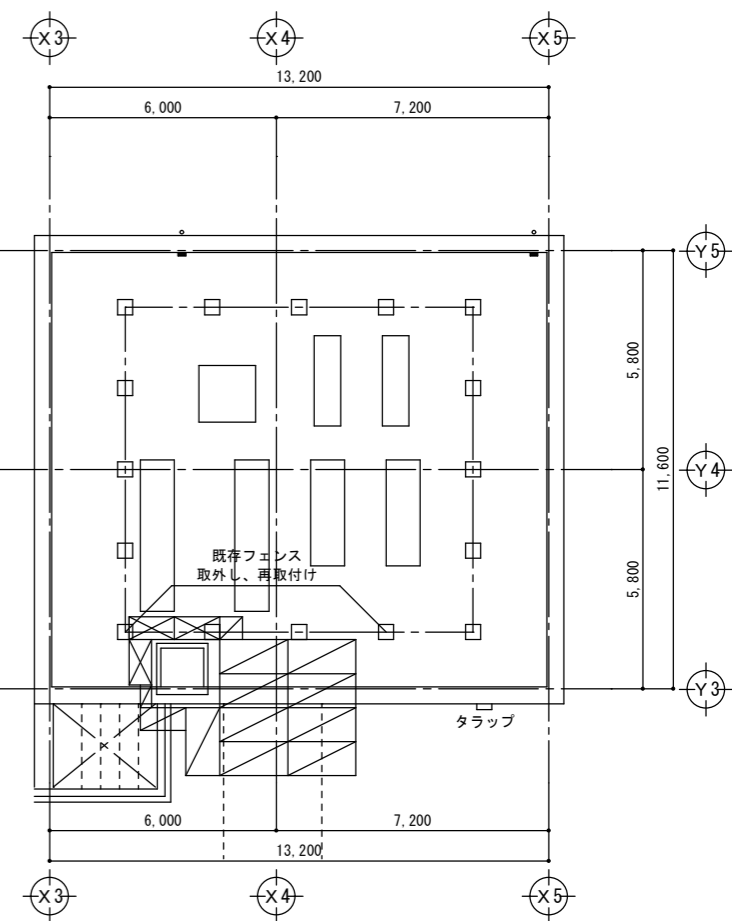
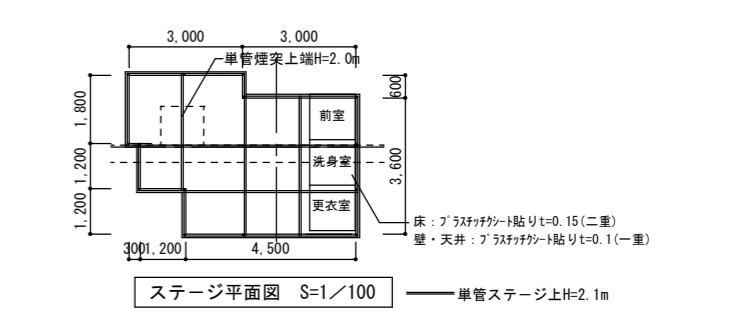
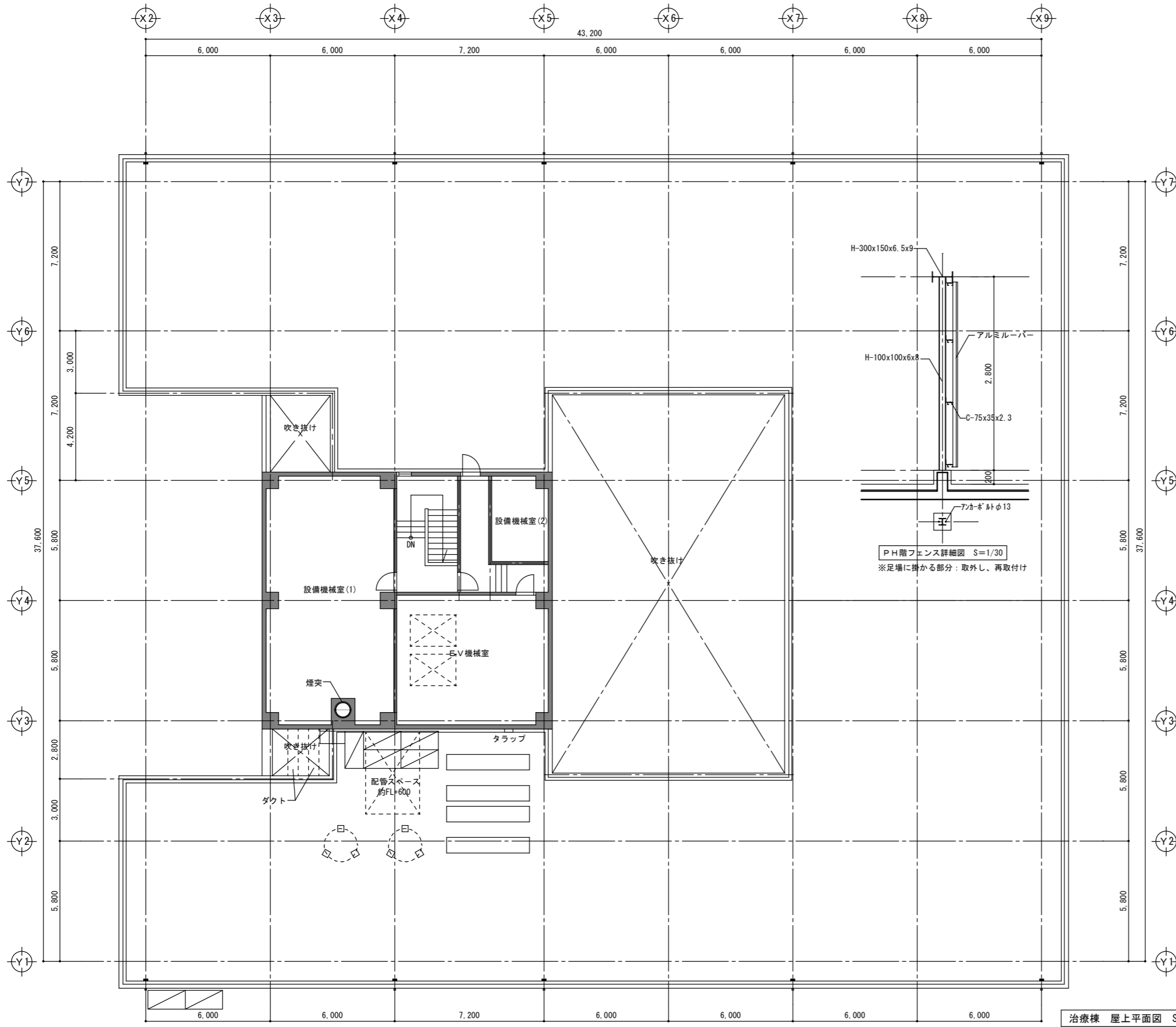
治療棟 1階平面図 S=1/100
 仮設枠組足場W=900 手摺先行方式

特 記	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	(有) ゆう建築設計工房 U PLANNING 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (6) 第6599号 一級建築士 国土交通大臣登録 第89149号 成田 伸一	工事名 循環器・呼吸器病センター治療棟ほか煙突アスベスト対策工事 図面名 治療棟 1階平面図	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	日付 製図	図面番号 A-08
	埼玉県立病院機構										

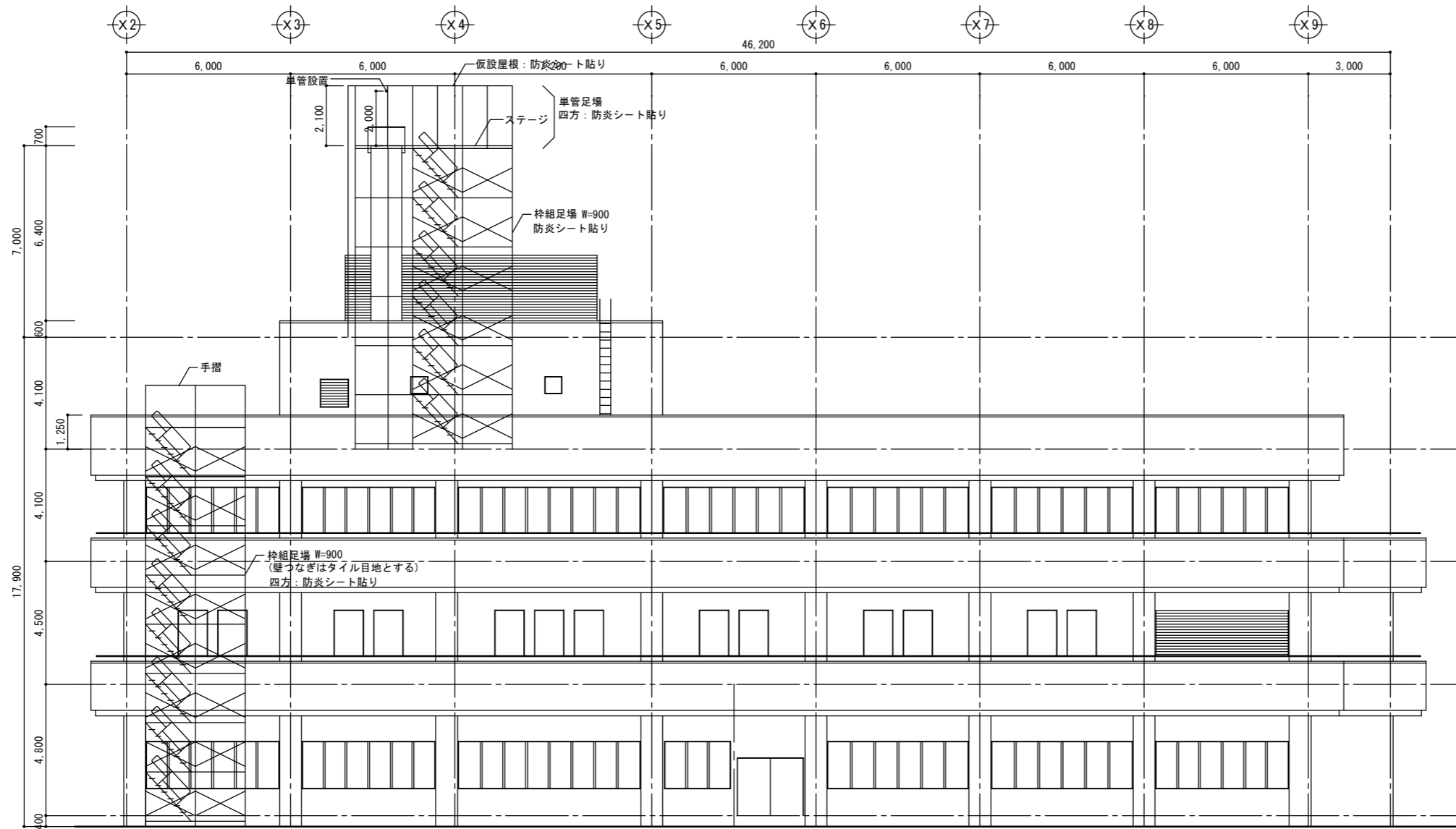


治療棟 3階平面図 S=1/100

特 記	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構					本部長 管理幹 主幹 主査 担当	(有) ゆう建築設計工房 U PLANNING 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (6) 第6599号 一級建築士 国土交通大臣登録 第89149号 成田 伸一	工事名 23循環器・呼吸器病センター治療棟ほか煙突アスベスト対策工事 図面名 治療棟 3階平面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	日付	図面番号
	設計	製図	A-10								

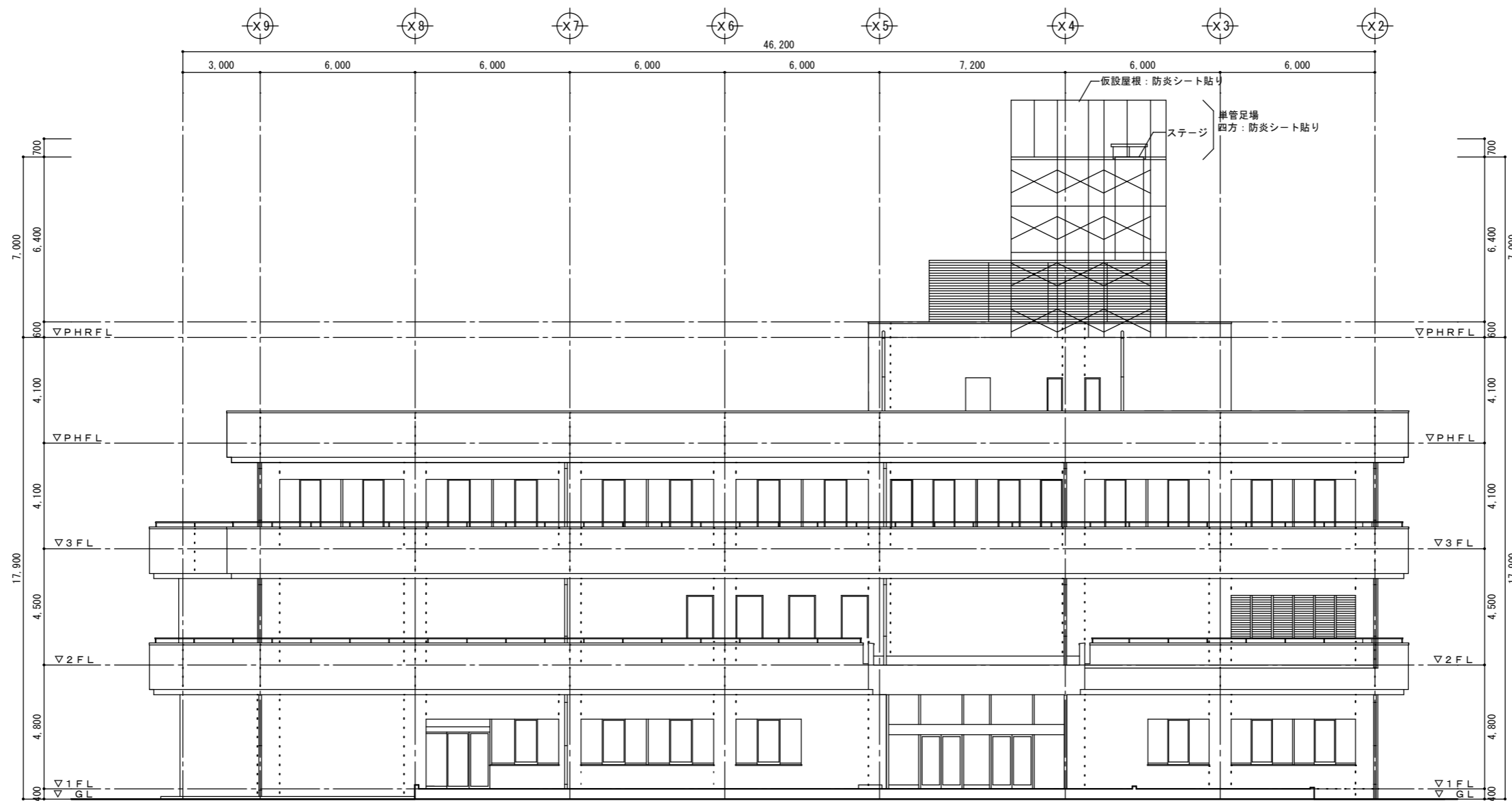


治療棟 屋上平面図 S=1/100



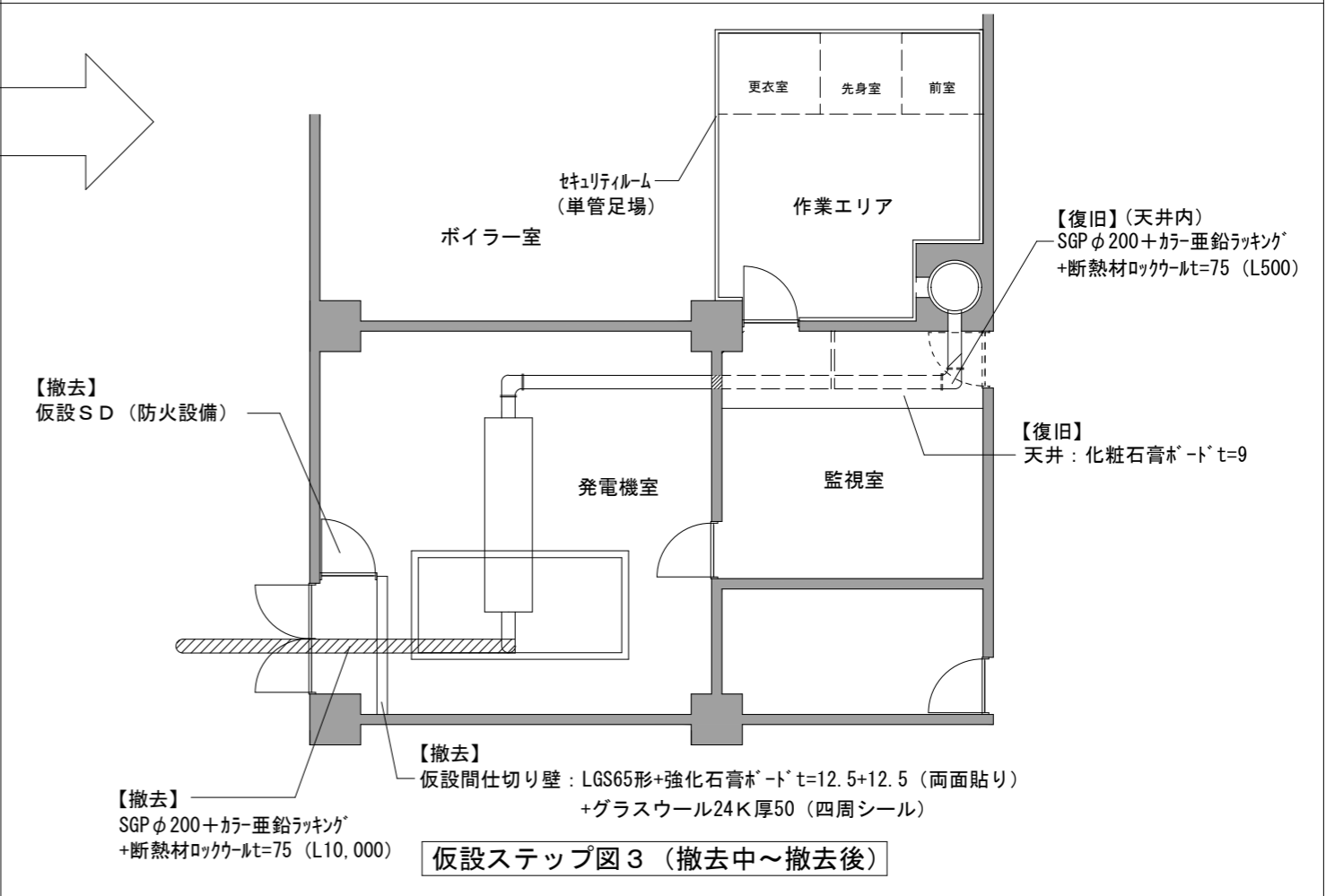
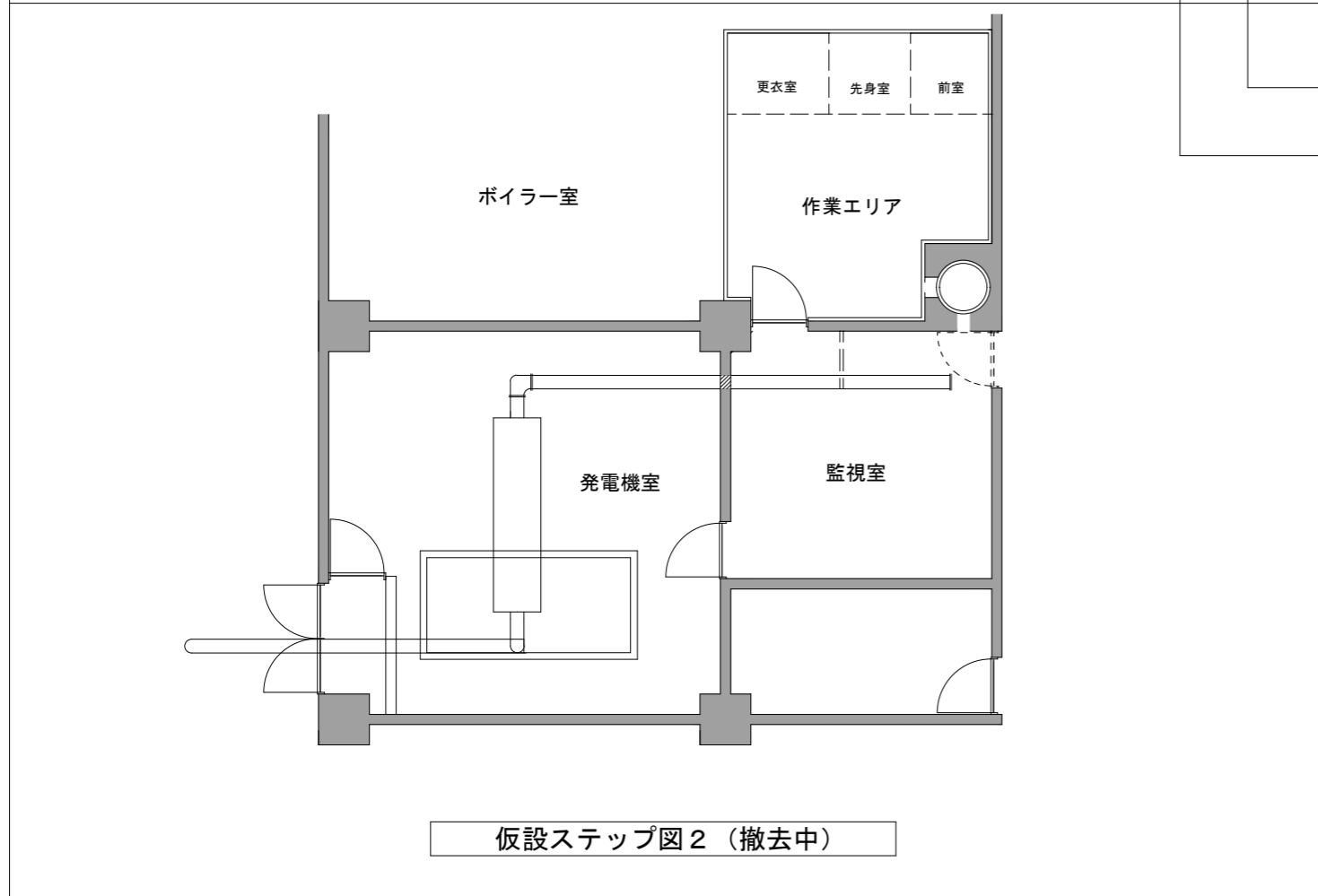
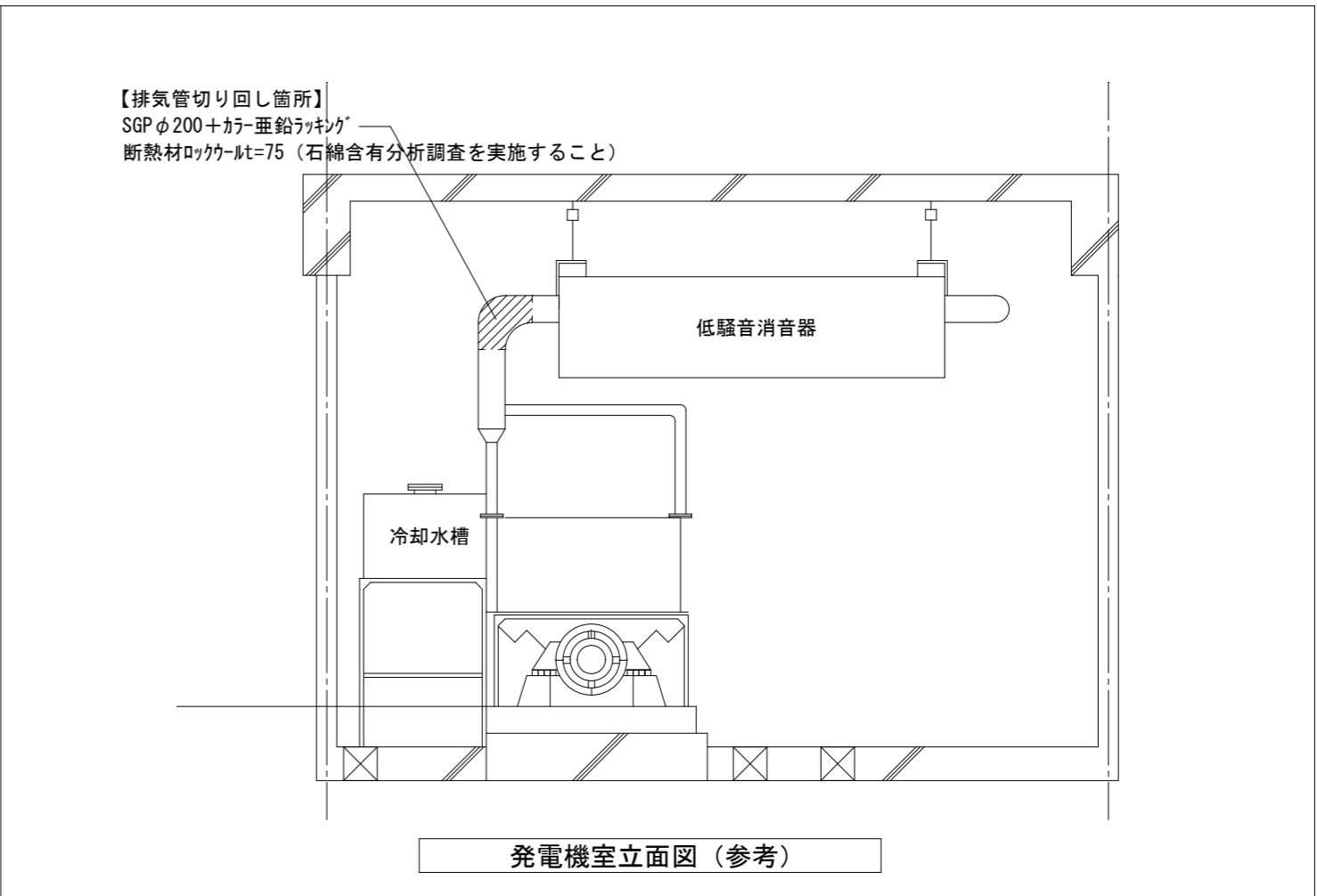
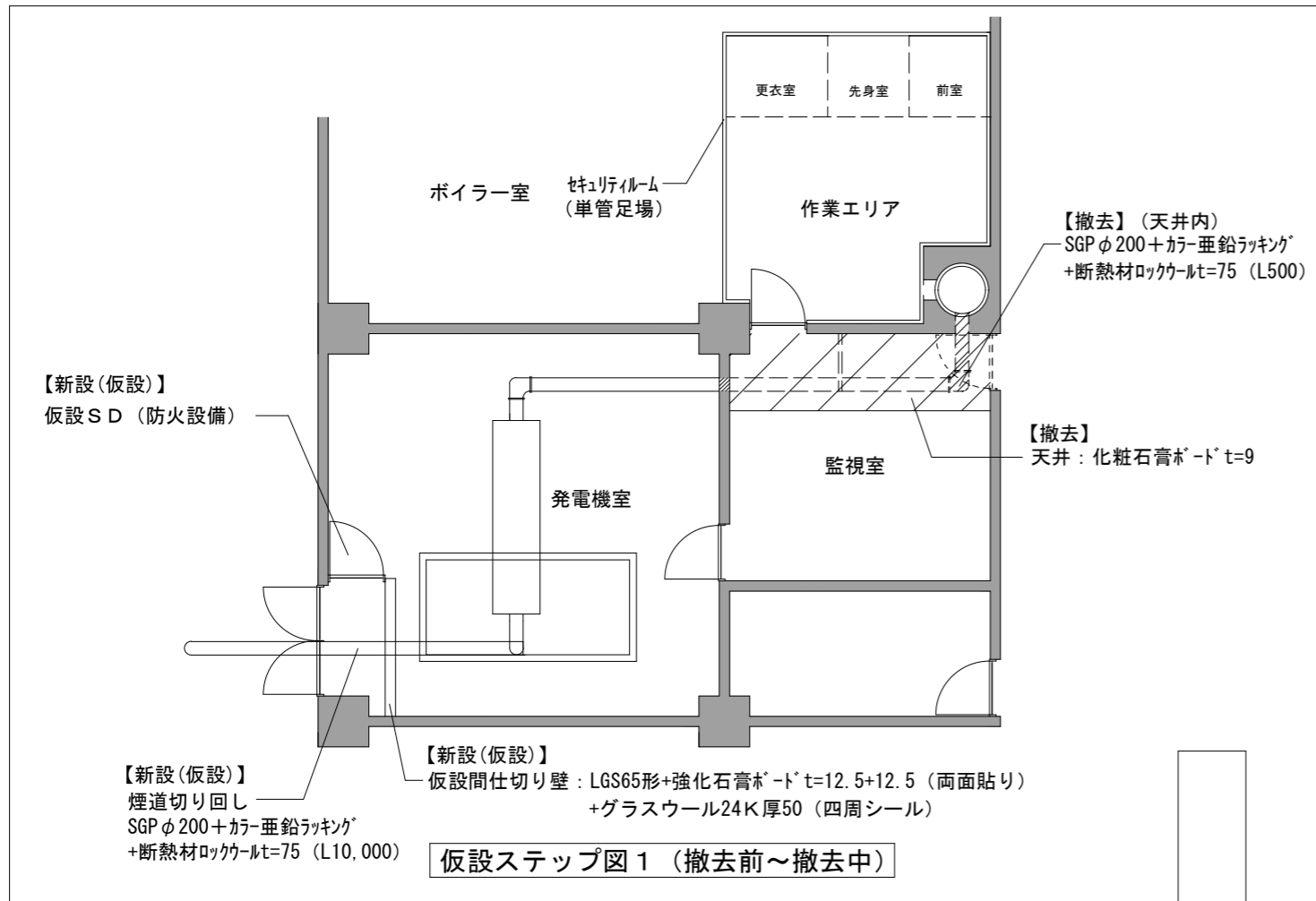
治療棟 南側立面図 S-1/100

特 記		地方独立行政法人 埼玉県立病院機構	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	(有) ゆう建築設計工房 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (6) 第6599号 一級建築士 国土交通大臣登録 第89149号 成田 伸一	工事名 23循環器・呼吸器病センター治療棟ほか煙突アスベスト対策工事 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	日付 図面番号 A-12
									図面名 治療棟 南側立面図 製図	

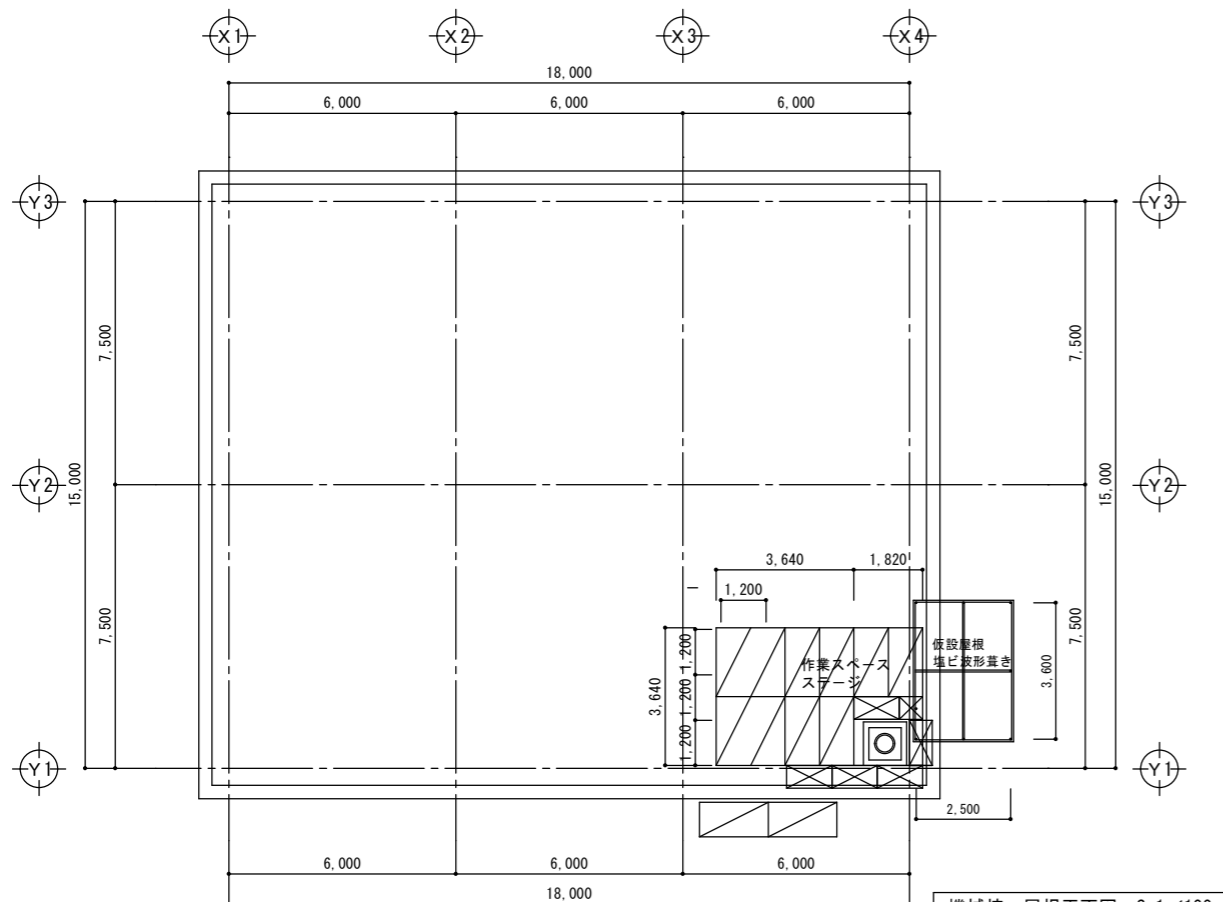


治療棟 北側立面図 S=1/100

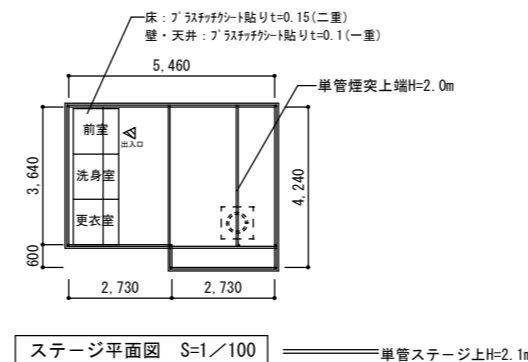
特 記		地方独立行政法人 埼玉県立病院機構	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	(有) ゆう建築設計工房 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (6) 第6599号 一級建築士 国土交通大臣登録 第89149号 成田 伸一	工事名 23 循環器・呼吸器病センター治療棟ほか煙突アスベスト対策工事 図面名 治療棟 北側立面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	日付 製図	図面番号 A-15



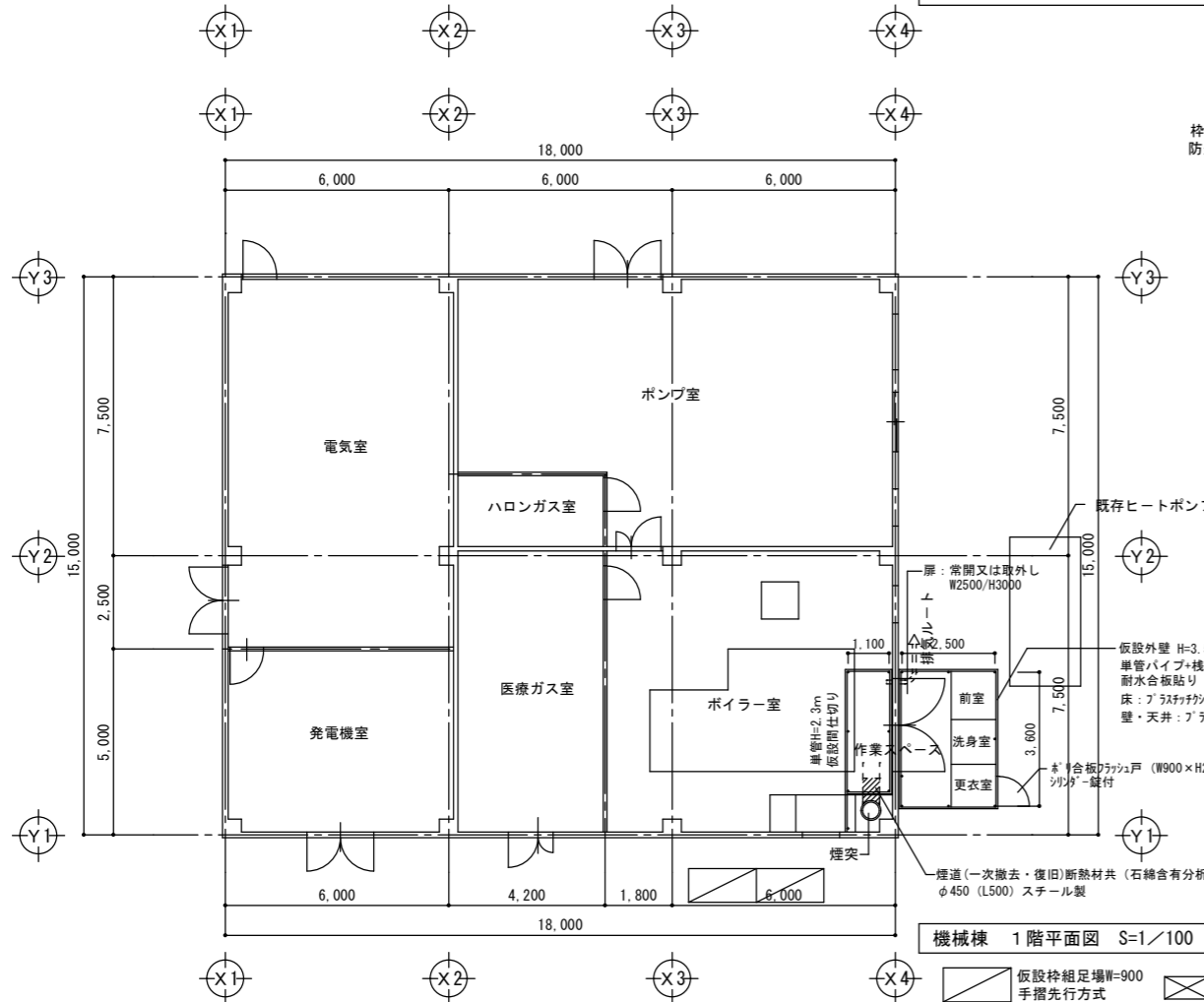
特		地方独立行政法人	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	U PLANNING (有) ゆう建築設計工房 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (6) 第6599号 一級建築士 国土交通大臣登録 第89149号 成田 伸一	工事名	縮尺	日付	図面番号	
記		埼玉県立病院機構							23循環器・呼吸器病センター治療棟ほか煙突アスベスト対策工事				A-16
									図面名	設計	製図		



機械棟 屋根平面図 S=1/100

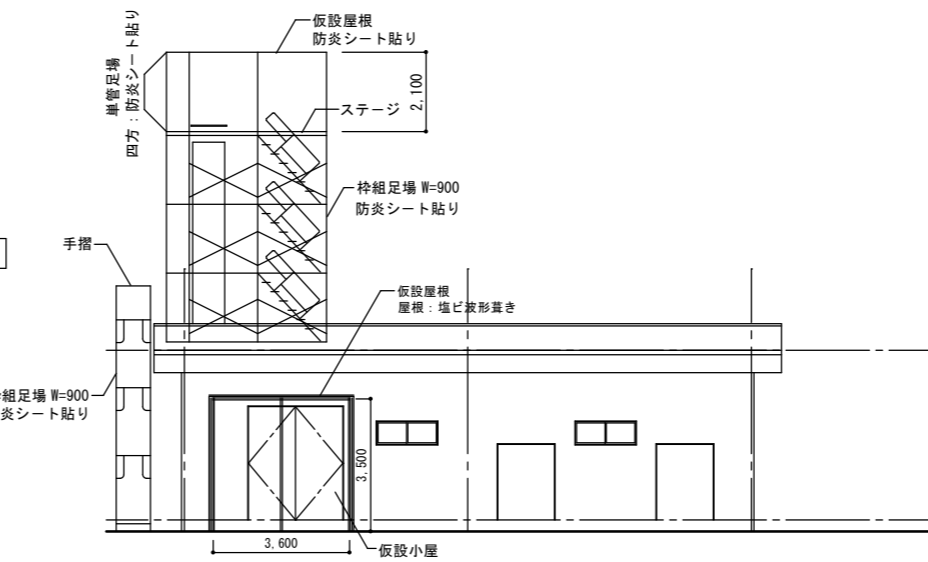


ステージ平面図 S=1/100 単管ステージ上H=2.1m

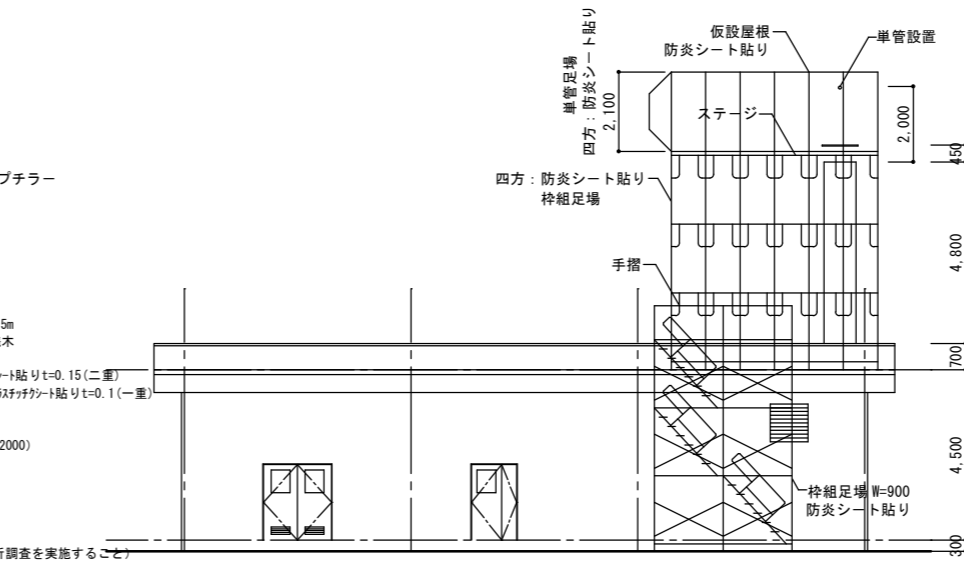


機械棟 1階平面図 S=1/100

仮設枠組足場W=900 手摺先行方式
 仮設枠組足場W=600 手摺先行方式



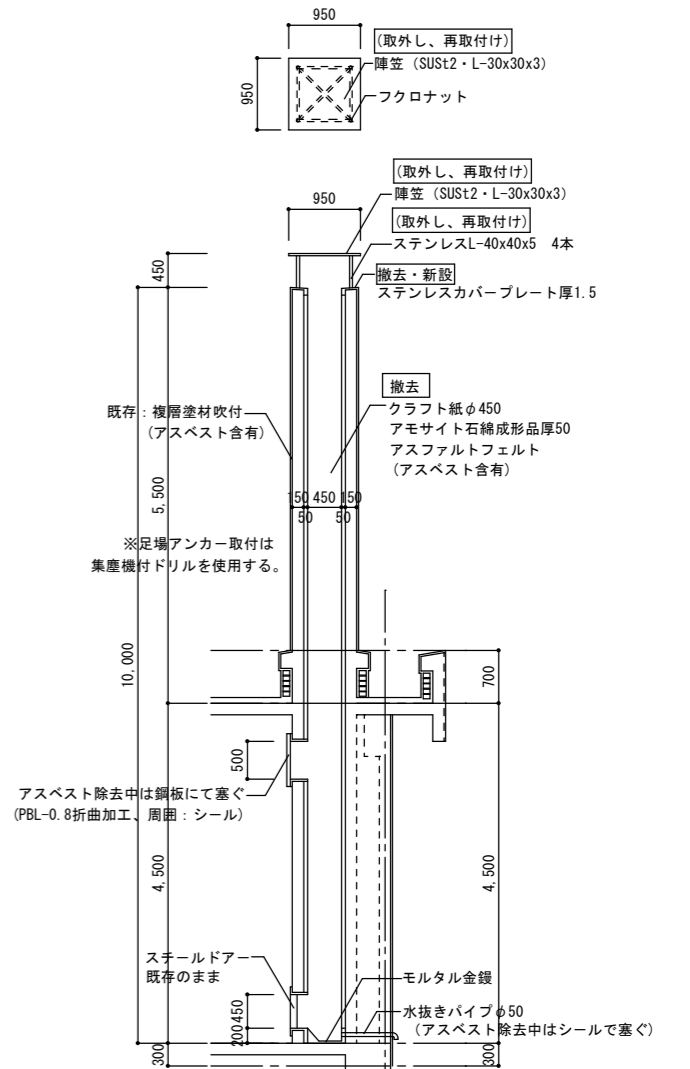
煙突断面図 S=1/50



煙突平面図 S=1/50

改修前 クラフト紙、アモサイト石棉成形品厚50、アスファルトフェルトφ450 厚50 撤去 (7ス^レト含有)
改修後 鋼管: SS400 PL-3.2 外径φ448
 断熱材: イソウールブラケット25 t 1100°C仕様同等品以上
 内面: SUS304 PL-2張り 内径φ371

煙突改修工事特記仕様
 ・煙道及び点検口接続部分については、新設煙突を加工して煙道を確保すること
 ・煙突現地実測2回程度
 ・除去工法は(湿式)集塵装置付きディスクライナー工法又は同等工法とすること
 ・ステンレスプレート及び陣笠は、SUS304で耐熱塗装600°C仕上りとすること
 ・鋼製煙突1本約1mでソケットジョイントタイプとすること



煙突断面図 S=1/50

煙突平面図 S=1/50